

安心できる暮らし、地域を

八幡市12月議会

災害対策の強化 暮らしを応援

日本共産党八幡市議団

災害の危険からいのちを守る

日本共産党八幡市議団は、12月議会での質問、政府や京都府への要請などで、市民が安心できる暮らしの実現、防災対策の抜本的強化をもとめてきました。



昨年大阪北部地震で八幡市は震度5強となり、被災住宅は2000件を超えました。99%以上が一部損壊と診断されましたが、1月時点で、住宅改修の支援を受けたのは約180件。多くの住宅が公的支援を受けられませんでした。

隣接する大阪府は府下の自治体に災害救助法を適用し、府が主導して復旧活動を実施しました。京都府や八幡市が同法を適用しなかった判断ミスが問われます。

現行の木造住宅耐震改修助成は、今回の災害で柔軟に運用しましたが、住宅の改修に適用するには限界が明らかです。

大規模災害で避難所となる学校・体育館のエアコン設置について、日本共産党は9月、12月の議会で要求し、11月の国政交渉でも要望してきました。市は、国の防災事業債を活用して、体育館にエアコンを設置する答弁をしました。

日本共産党市議団は、市の防災対策の弱点を乗り越え、議会答弁を実行するために、右の4点を求めます。

日本共産党の提案

災害救助法の適用

大阪北部地震で大阪府が災害救助法を適用した経験に学び、京都府・八幡市も大規模災害時にきちんと適用すべきです。

一部損壊住宅への支援を

市は大規模災害時には被災住宅支援事業(2015年制定)を活用し一部損壊住宅の改修、家具修理などを支援すべきです。

現行の住宅改修助成を柔軟に

木造住宅耐震改修助成を柔軟に運用し、1981年以降の新建築基準以降の住宅にも適用できるよう拡充すべきです。

学校体育館にエアコン

避難所となる学校の体育館でのエアコン設置について、国の補助制度(2020年度まで)を適用して具体化を急ぐべきです。

医療費負担引き下げを



安倍政権の社会保障切り捨てが京都府や八幡市に持ち込まれ、医療費の負担増などで悲鳴が上がっています。

子ども医療費高校卒業まで無料に

市民と日本共産党の運動で、京都府の子どもの医療費助成が改善される見通しです。日本共産党は12月議会で、府の制度改善で軽減される市の財源を活用し、高校卒業までの無料化を求めました。

ところが市は、府全体で統一した運用が望ましいと述べ、高校卒業まで拡充する見通しについて明言を避けました。

国保料 大幅値下げを

高すぎる国民健康保険料が住民の暮らしを苦しめています。

八幡市では3年連続して国保料の値下げを実現したものの、今も「京都府で一

番高い国保料」の状態が続いています。所得200万円(夫婦+子ども2人)の世帯で国保料は37万円を超えています。

国保料には「均等割」「平等割(世帯割)」という項目があり、「家族数」「1世帯当たり」で計算されます。これが国保料を押し上げています。先のケースで11万2440円(介護分除く)を占めます。

全国知事会も要望

全国知事会は、国保料軽減のため、「1兆円の公費投入が必要」と政府に迫っています。日本共産党は、国・都道府県が公費1兆円を投入して国保料を中小企業の労働者が加入する「協会けんぽ」並みに引き下げを提言しています。こうした改善をすれば、均等割、平等割を廃止することが可能になります。

これでいいの？

市長と党

子育て充実の請願を不採択に

12月議会で、市民の方から出された「子育て応援、ゆきとどいた教育の実現」を求める請願(2446筆)を審議しました。小児夜間救急の市内での診療日を増やす、高校卒業まで医療費無料化、少人数学級、学童保育の過密状態解消、保育環境充実などの内容です。

賛成は共産党のみ

本会議で、この請願に賛成したのは日本共産党(4人)だけで、ほかの会派、無所属の議員は賛成せず不採択になりました(議長は採択に参加せず)。これで市民の声が市政に反映できるでしょうか。

こんにちは 日本共産党です

力あわせてがんばります

山本 邦夫市議	982-8844
巖 博市議	982-9663
亀田 優子市議	982-1277
中村 正公市議	983-8312

<八幡市議会報告ニュース> 2019年冬号

日本共産党八幡市議会議員団 075(983)2005 (FAXも)

◇市議団ホームページ⇒JCP八幡市議団で検索

◇メールアドレス⇒ jcp-ywta@am.wakwak.com

一人で悩まず
お気軽に
ご相談を

悪政の自治体
もちこみ許さない

憲法改悪ノー、消費税増税ストップ

プラスチックごみ 毎週回収を

プラスチックごみの回収は、実施している周辺自治体では毎週回収しているのに、八幡市だけが隔週にとどまっています。日本共産党市議団は12月議会でも毎週回収を実施するよう迫りました。

これにたいし市は、毎週回収するためには、処理施設までの距離が遠い、収集体制の見直しが必要などを理由にあげ、「毎週収集は考えていない」と答弁

しました。
プラスチックごみの毎週回収を実施しないことにより、プラスチックごみのリサイクル率なども低下しています。八幡市は「循環型社会をめざした環境にやさしいまち」を掲げていますが、こうした目標にも逆行しています。

市民の声を大きく広げ、プラスチックごみの毎週回収を迫っていきます。

くらしの願い実現に全力

日本共産党の一般質問

高校生の通学費補助 山本邦夫議員

質問 高校生の通学費負担が切実です。府の補助制度は月1万7000円を越す部分が対象となっており、改善が必要ではないか。

答弁 府の高校生通学補助は平成28年度に1件ありました。府に補助拡充に向け検討していただきたい。

3学期制への移行を 亀田優子議員

質問 市教委は平成31年度に3学期制を試行すると答弁してこられたが、準備は進んでいるのか。全小中学校で試行されるのか。

答弁 来年度3学期制の試行に向けて検討委員会で準備している。市内の全小・中学校で試行する。

橋本に福祉拠点整備を 中村正公議員

質問 橋本駅周辺整備に関連し、身近なところに医療や介護事業所がほしいという要望が強い。市と京阪が連携して取り組めないか。

答弁 橋本駅隣接地域の京阪の計画は介護、老人、住宅をキーワードにしておられるので、健康部、都市整備部と協力し対応していきたい。

農地の不法盛り土を防げ 巖 博議員

質問 一部事業者による農地での不法盛り土が続いている。農家に対し、農地の地目変更の申請段階での啓発を進めるべきではないか。

答弁 盛り土関係の啓発チラシは、できるだけ農業関係者に目につくよう、工夫して配布などを考えていきます。

八幡市水道料金 徴収業務の民間委託 仏・水メジャーが算入

同社ホームページ 市役所に「営業所」と記載

国会で水道民営化を認める水道法改悪に先がけ、八幡市は水道料金徴収業務をフランスの水メジャー「ヴェオリア・ジェネツ社」に委託しています。

契約内容から逸脱

同社ホームページには「八幡営業所」として、市役所の住所、電話番号が記載され、近隣自治体の水道料金徴収の求人情報に、八幡営業所が「面接場所」として書かれていました。

日本共産党は、12月議会で

この点を指摘し、契約内容から逸脱しており削除を求めました。市は、逸脱を認め、電話番号などの記入を削除させました。全国の自治体でもヴェオリア社のホームページの記入が問題になり、現在、同社の事業所一覧は非表示になりました。

国の水道法改悪を受け、自治体で水道事業の公共性を守るのかどうか問われます。公営の水道事業を維持できるようがんばります。

安心できる介護保険を

国が「助け合い」と聞き直り

日本共産党市議団が11月におこなった省庁交渉で、国が八幡市の介護保険の負担分25%を3%減額し、1億3000万円が保険料に上乗せされていることを指摘したのに対し、後日、厚生労働省から返答がありました。同省は、高齢者に支え合っていた「助け合いの精神」と聞き直り、制度見直しを否定しました

あんしんサポートハウス

男山団地で介護など高齢者サービスを提供する「YMBT」では特別養護老人施設に加え、軽度の方が入居できる「あんしんサポートハウス（定員20人）があります。12月議会で待機者が55人であることが明らかになりました。市内2つ目のあんしんサポートハウス設置に乗り出すべきです。

日本共産党 演説会

2月10日（日）14時30分～
文化センター 小ホール（3階）

田村智子参院議員 ・党副委員長が話します

倉林明子参院議員
森下よしみ府会議員
八幡市議団、予定候補

力あわせてがんばります



京都府議
森下よしみ



市会議員
山本くにお



市会議員
いわおひろし



市会議員
かめだ優子



市会議員
中村せいこう



党平和・女性部長
さわむら純子